

□ 次の文章を読んで後の設問に答えなさい。なお、作問の都合上、本文の一部を省略しています。

オバマ大統領の就任演説のあと、感想を求められた当時のわが国の総理大臣は「世界一位と二位の経済大国が協力してゆくことが必要だ」というコメントを出しました。これは典型的に日本人的な発言だったと私は思います。「日本は世界の中でどのような国であるか」ということを言おうとしたとき、総理大臣の頭にまず浮かんだのは、「経済力ランキング表」でした。もし、日本が軍事力でいいポジションにあれば、あるいは*₁ODAや国際学力テストの得点でいい順位にあれば、首相はその「ランキング表」をまず頭に浮かべて、それをもって日本の国際的な役割とアメリカにとってのわが国の有用性を言い立てようとしたでしょう。ある国固有の、代替^{だいた}不能の存在理由は、その*₂GDPや軍事予算の額やノーベル賞受賞者の数などとは無関係に本能的に定ま^まつていて、という発想がここにはありません。

経済力ランキングは当然ながら、毎年変わります。だから、それは国民的アイデンティティの指標としては使えない。「世界第二の経済大国として」「アメリカとの関係を構築したい」という発言は「第三位」や「第五位」になったら、対米関係が変わる可能性があるということを含意しているわけです。それを誰も「変だ」と思わなかったことが「変だ」と私は思うのです。

〈中略〉

他国との比較を通じてしか自国のめざす国家像を描けない。国家戦略を語れない。そのような種類の主題について考えようとすると自動的に思考停止に陥ってしまう。これが日本人のきわだった国民性格です。

たしか大塚英志さんが企画したと思うのですが、高校生に日本国憲法^{けんぽう}を書いてもらうというコンクールがありました。その中の一つに「そこそこの国」が理想ですと書いた高校生がいたという話を聞きました。話を教えてくれた高橋源一郎さんと二人で「すごいねえ」と顔を見合わせて笑ってしまいました。「そこそこの国」というこの*₃ワーディングがぐつと「来た」からなんです。どうして「来た」とかという、こ^こうい^いう言葉遣いをする国民は日本人しかいないからです。相当数の日本人がこの高校生の言葉に「なるほど」と共感の頷^{うなず}きをするのではないかと思います。それはこの言葉が日本人の国家像の描き方をみごとに言い当てているからです。

右の端には「あの国」があり、左の端には「この国」があり、その間のどこかにわが国のポジションがある。そういう言い方でしか自国の立ち位置を言うことができない。それは*₄毅然^{きぜん}としていない、とかポリシーがないとか、そういうことではなくて、日本は本能的にそういう国だということです。だから、この高校生は日本国家の本質をみごとに言い当てている。日本という国は建国の理念があつて国が作られているわけではありません。まずよその国がある。よその国との関係で自国の相対的地位がさだまる。よその国が示す国家ヴィジョンを参照して、自分のヴィジョンを考える。

オバマ大統領就任の後、あらゆる新聞の社説は「新大統領は日本に対して、親和的だろうか、それとも威圧的だろうか。日本の要求に耳を貸してくれるだろうか、日本を軽視するだろうか」ということをまず論じていました。アメリカの東アジア戦略が「何であるか」よりも、それを物質化する際に「どういう口調で、どういう表情で、どういう物腰で」日本に触れてくるのがまず論じられていた。相手の出方が*₅宥和^{ゆうわ}的であれば、こち

らもある程度言いたいことを言える。相手の出方が^{*6}非妥協的であれば、不本意でも黙ってうなずくしかない。要は相手の出方次第である。そんなふうに日本のメディアはアメリカの外交戦略の「コンテンツ」よりも、それを差し出す「マナー」に関心を優先させていました。

(内田樹『日本辺境論』(新潮社)による)

〈注〉 *1 「ODA」…政府開発援助。

*2 「GDP」…国民が一年間で受け取った所得の総額。

*3 「ワーディング」…言葉づかい。

*4 「毅然」…意志が強く、しっかりしている様子。

*5 「宥和」…うちとけて仲良くすること。

*6 「非妥協的」…相手と折り合いをつけようとしなない様子。

設問

自国の目指す国家像を語るとき、相当数の日本人が「そこその国」という言葉に共感すると筆者は述べていますが、それはなぜですか。その理由を、筆者の考えに合うように「日本人は、くから」という形になるように五十字以内で説明しなさい。
なお、説明する際に「相手」・「性格」という単語を必ず用いて記述してください。

問題は次ページに続きます。

二 次の各問いに答えなさい。

A 漢字に関する問題

問一 次の――部①～⑧の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 著しい発展を遂げた我が街。
- ② 長い年月を費やして完成した家。
- ③ ご恩に報いるよう、一生懸命がんばります。
- ④ だいぶ波が和らいだようだ。
- ⑤ いそがしくて我が身を省みるひまがなかった。
- ⑥ 口は災いのものである。
- ⑦ ご依頼の件、たしかに承りました。
- ⑧ 弟は専ら部屋で読書ばかりしている。

問二 次の――部①～⑧のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- ① ヒゲギのヒロインを演じる。
- ② この機械は、世界ヒョウジュンだ。
- ③ 国民に一律十万円をキュウフする。
- ④ あなた方の意見をソンチョウします。
- ⑤ テレビ局のホウドウ番組を視聴する。
- ⑥ 土地をソクリョウする。
- ⑦ 学校のシュウヨウ人数は1200人です。
- ⑧ ミンシュウの支持を集めた大統領。

B ことわざ・慣用句に関する問題

問三

次の①～⑦の には、例にあるように「」内の意味を表した繰り返し言葉が入ります。それぞれ入れるのにふさわしいものを後の語群のＡ～Ｑの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

〔例〕おながが 鳴る。〔雷がとどろき渡る音。また、それに似た音〕

答：ごろごろ

- ① 雨が 降る。〔静かに小止みなく降るさま〕
- ② 桜の花びらが と散る。〔小さな物や軽い物が次々と落ちかかるさま〕
- ③ 魚をさばいて手が になる。〔油や脂肪でべたつくさま〕
- ④ いつまでも と文句を言う。〔しつこく繰り返し言うさま〕
- ⑤ 外国人に話しかけられて してしまった。〔緊張や不安や恐怖で落ち着かないさま〕
- ⑥ 彼女はその知らせを聞いて、その場に とくずれ落ちた。〔気力や体力を失って弱々しく見えるさま〕
- ⑦ 混雑で遊園地に入らず、 と自宅に帰った。〔元氣なく歩くさま〕

語群

ア. ぎとぎと	イ. くどくど	ウ. おどおど	エ. ほくほく
オ. へなへな	カ. とぼとぼ	キ. しとしと	ク. はらはら

問題は次ページに続きます。

C 言葉づかい・文法に関する問題

問四 次の①～⑤にある選択肢ア～エの語のうち、他の語と成り立ちや性質が異なっているものをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|---|----------|----------|----------|-----------|
| ① | ア. あどけない | イ. かぎりない | ウ. きたない | エ. とんでもない |
| ② | ア. 子どもだ | イ. 失礼だ | ウ. おろかだ | エ. 危険だ |
| ③ | ア. 暑そうだ | イ. 痛いそうだ | ウ. できそうだ | エ. 良さそうだ |
| ④ | ア. 次第に | イ. すぐに | ウ. 実に | エ. 派手に |
| ⑤ | ア. もしもし | イ. やれやれ | ウ. いよいよ | エ. あらあら |